



平成 27 年 6 月 5 日

各 位

会 社 名 北越紀州製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 岸本 哲夫  
(コード番号 : 3865 東証 1 部)  
問合せ先 執行役員経営管理部長 真島 馨  
電 話 03-3245-4500

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 27 年 5 月 28 日付適時開示「平成 27 年 3 月期決算短信 (連結) の発表期日並びに過年度決算数値の訂正による影響の見込み額等について」にてお知らせしたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

この度、平成 25 年 2 月 14 日付「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所を明確にするため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年2月14日

上場会社名 北越紀州製紙株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3865 URL <http://www.hokuetsu-kishu.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸本 哲夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 堀川 淳一 (TEL) 03-3245-4500  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	155,324	△10.5	2,766	△63.3	8,126	△16.6	6,037	△37.6
24年3月期第3四半期	173,553	6.3	7,549	13.6	9,747	25.3	9,682	110.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,365百万円(△34.6%) 24年3月期第3四半期 9,731百万円(203.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	29.60	29.57
24年3月期第3四半期	47.44	47.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	332,972	154,164	45.7
24年3月期	332,979	150,628	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 152,243百万円 24年3月期 148,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△8.9	4,000	△63.0	10,000	△27.4	7,000	△44.8	34.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期3Q	209,263,814株	24年3月期	209,263,814株
25年3月期3Q	5,849,169株	24年3月期	4,918,787株
25年3月期3Q	203,971,314株	24年3月期3Q	204,100,369株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
- 平成25年3月期第2四半期連結会計期間より、株式の取得に伴い大王製紙株式会社を持分法適用の範囲に含めております。なお、当該持分法の適用により発生した負ののれん (3,919百万円) を「持分法による投資利益」に計上しており、負ののれんの金額につきましては、当第3四半期連結会計期間末時点で入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 四半期連結貸借対照表関係	<u>8</u>
(5) 四半期連結損益計算書関係	<u>8</u>
(6) セグメント情報等	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要はあったものの、欧州債務問題や新興国経済の減速懸念、円高の長期化等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。政府の新たな経済対策への期待感から、先行きに幾分明るい兆しが見られるものの、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、前年同四半期は印刷・情報用紙等の国内需要が低迷している中、東日本大震災により代替供給が一時的に増加していたこと、また、当第3四半期連結累計期間では円高等を背景に輸入紙の流通量等が増加していることもあり、国内販売数量が減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は155,324百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

損益面においては、各種コストダウンや、大王製紙株式会社の株式取得に伴い同社を当社の持分法適用関連会社としたことに伴って発生した負ののれんを持分法による投資利益として計上したものの、洋紙の生産・販売数量減少や販売価格の下落等により、当第3四半期連結累計期間の経常利益は前年同四半期比16.6%減の8,126百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期においては当社の紀州製紙株式会社の吸収合併に伴い、税効果適用後の税金費用が軽減したこと等があったことから、前年同四半期比37.6%減の6,037百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、332,972百万円となりました。これは、主として株式取得等により投資有価証券が14,909百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が7,453百万円減少したこと、減価償却等により有形固定資産が7,634百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて3,542百万円減少し、178,808百万円となりました。これは、主として有利子負債が6,895百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が4,581百万円減少したこと、未払法人税等が2,243百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,535百万円増加し、154,164百万円となりました。これは、主として四半期純利益による利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、印刷・情報用紙等の国内需要が低迷している中、効率向上等のコストダウンの継続はあるものの、急激な円安による原燃料価格の上昇、加えて工場構外の一部インフラの一時的な設備トラブルによる減産及び効率低下等により、営業利益は前回業績予想を下回る見通しです。また、経常利益、当期純利益につきましても、上記要因に加えて、当社の持分法適用関連会社である大王製紙株式会社が当第3四半期連結会計期間において海外関連会社への投融資等に対する巨額な損失を計上し、同社の当第3四半期連結会計期間において純損失となったこと等から、通期連結業績予想を下方修正したため、前回業績予想を下回る見通しです。

平成24年11月14日公表の通期連結業績予想との差異は以下のとおりです。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

平成25年3月期通期の連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成24年11月14日発表)	210,000	5,000	12,000	8,500	41.70
今回修正予想 (B)	210,000	4,000	10,000	7,000	34.34
増減額 (B - A)	—	△1,000	△2,000	△1,500	
増減率 (%)	—	△20.0	△16.7	△17.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	230,569	10,823	13,780	12,673	62.09

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,158	22,163
受取手形及び売掛金	68,679	61,226
商品及び製品	17,132	19,017
仕掛品	1,736	1,843
原材料及び貯蔵品	12,462	12,550
その他	5,067	4,259
貸倒引当金	△88	△57
流動資産合計	<u>128,147</u>	<u>121,002</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,461	70,702
減価償却累計額	△37,315	△38,716
建物及び構築物（純額）	<u>33,145</u>	<u>31,986</u>
機械、運搬具及び工具器具備品	372,912	373,273
減価償却累計額	△265,802	△273,334
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	<u>107,110</u>	<u>99,939</u>
その他（純額）	<u>30,129</u>	<u>30,825</u>
有形固定資産合計	<u>170,385</u>	<u>162,751</u>
無形固定資産	1,173	1,371
投資その他の資産		
投資有価証券	25,627	40,537
その他	9,822	9,559
貸倒引当金	△2,177	△2,249
投資その他の資産合計	<u>33,272</u>	<u>47,847</u>
固定資産合計	<u>204,832</u>	<u>211,969</u>
資産合計	<u>332,979</u>	<u>332,972</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,538	22,957
短期借入金	<u>47,745</u>	<u>47,145</u>
コマーシャル・ペーパー	12,000	11,000
1年内償還予定の社債	300	—
未払法人税等	2,591	347
引当金	2,926	1,540
その他	12,262	<u>11,640</u>
流動負債合計	<u>105,364</u>	<u>94,631</u>
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	24,538	33,844
退職給付引当金	13,172	13,057
その他の引当金	777	686
負ののれん	4,436	3,099
資産除去債務	1,481	1,476
その他	2,579	2,011
固定負債合計	<u>76,986</u>	<u>84,176</u>
負債合計	<u>182,350</u>	<u>178,808</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,020	42,020
資本剰余金	45,481	45,481
利益剰余金	<u>62,686</u>	<u>66,276</u>
自己株式	<u>△2,317</u>	<u>△2,678</u>
株主資本合計	<u>147,871</u>	<u>151,100</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	862	1,189
繰延ヘッジ損益	△42	△31
為替換算調整勘定	3	△14
その他の包括利益累計額合計	<u>823</u>	<u>1,142</u>
新株予約権	37	74
少数株主持分	1,896	1,846
純資産合計	<u>150,628</u>	<u>154,164</u>
負債純資産合計	<u>332,979</u>	<u>332,972</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	173,553	155,324
売上原価	142,553	129,422
売上総利益	31,000	25,901
販売費及び一般管理費	23,450	23,134
営業利益	7,549	2,766
営業外収益		
受取利息	4	37
受取配当金	597	581
負ののれん償却額	1,337	1,337
持分法による投資利益	56	3,153
助成金収入	823	651
その他	715	998
営業外収益合計	3,534	6,759
営業外費用		
支払利息	842	718
設備休止費用	—	296
その他	493	385
営業外費用合計	1,336	1,399
経常利益	9,747	8,126
特別利益		
固定資産売却益	579	69
投資有価証券売却益	0	29
負ののれん発生益	1,535	38
受取保険金	905	—
保険差益	—	18
その他	0	4
特別利益合計	3,021	160
特別損失		
固定資産除売却損	700	945
減損損失	120	37
投資有価証券評価損	2,947	402
関係会社整理損	48	—
災害による損失	1,128	—
その他	5	19
特別損失合計	4,951	1,404
税金等調整前四半期純利益	7,818	6,883
法人税、住民税及び事業税	402	846
法人税等調整額	△2,284	△22
法人税等合計	△1,881	823
少数株主損益調整前四半期純利益	9,699	6,059
少数株主利益	17	22
四半期純利益	9,682	6,037

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,699	6,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	137
繰延ヘッジ損益	64	9
為替換算調整勘定	△3	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	31	189
その他の包括利益合計	31	305
四半期包括利益	9,731	6,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,714	6,356
少数株主に係る四半期包括利益	16	8

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 四半期連結貸借対照表関係

不正行為に関連して発生したものが、以下のとおり含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
固定資産		
投資その他の資産		
その他		
長期未収入金	1,969百万円	2,031百万円
貸倒引当金	△1,969	△2,031

## (5) 四半期連結損益計算書関係

不正行為に関連して発生した貸倒引当金の繰入額が、以下のとおり含まれております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業外費用		
その他	58百万円	61百万円

## (6) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	150,713	15,652	166,366	7,187	173,553	—	173,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,381	193	1,575	20,807	22,382	△ 22,382	—
計	152,094	15,846	167,941	27,994	195,936	△ 22,382	173,553
セグメント利益	5,828	568	6,396	519	6,915	633	7,549

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、建設業、諸資材の販売、不動産売買、運送・倉庫業、古紙卸売業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額633百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「紙パルプ事業」セグメントにおいて、丸大紙業株式会社は、同社による自己株式の取得により完全子会社となりました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,535百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	132,969	15,710	148,680	6,643	155,324	—	155,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,726	147	1,873	20,167	22,041	△ 22,041	—
計	134,695	15,858	150,554	26,811	177,365	△ 22,041	155,324
セグメント利益	1,423	666	2,090	178	2,268	497	2,766

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、建設業、不動産売買、運送・倉庫業、古紙卸売業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額497百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年2月14日

上場会社名 北越紀州製紙株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3865 URL <http://www.hokuetsu-kishu.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸本 哲夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 堀川 淳一 (TEL) 03-3245-4500  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	155,330	△10.5	2,772	△63.3	8,166	△16.9	6,076	△37.7
24年3月期第3四半期	173,558	6.3	7,552	13.7	9,821	24.5	9,755	106.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,404百万円(△34.7%) 24年3月期第3四半期 9,805百万円(195.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	29.79	29.76
24年3月期第3四半期	47.80	47.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	332,944	156,278	46.4
24年3月期	332,994	152,703	45.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 154,358百万円 24年3月期 150,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△8.9	4,000	△63.1	10,000	△28.1	7,000	△45.3	34.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期3Q	209,263,814株	24年3月期	209,263,814株
25年3月期3Q	5,849,169株	24年3月期	4,918,787株
25年3月期3Q	203,971,314株	24年3月期3Q	204,100,369株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
2. 平成25年3月期第2四半期連結会計期間より、株式の取得に伴い大王製紙株式会社を持分法適用の範囲に含めております。なお、当該持分法の適用により発生した負ののれん (3,807百万円) を「持分法による投資利益」に計上しており、負ののれんの金額につきましては、当第3四半期連結会計期間末時点で入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	<u>8</u>
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	<u>8</u>

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要はあったものの、欧州債務問題や新興国経済の減速懸念、円高の長期化等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。政府の新たな経済対策への期待感から、先行きに幾分明るい兆しが見られるものの、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、前年同四半期は印刷・情報用紙等の国内需要が低迷している中、東日本大震災により代替供給が一時的に増加していたこと、また、当第3四半期連結累計期間では円高等を背景に輸入紙の流通量等が増加していることもあり、国内販売数量が減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は155,330百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

損益面においては、各種コストダウンや、大王製紙株式会社の株式取得に伴い同社を当社の持分法適用関連会社としたことに伴って発生した負ののれんを持分法による投資利益として計上したものの、洋紙の生産・販売数量減少や販売価格の下落等により、当第3四半期連結累計期間の経常利益は前年同四半期比16.9%減の8,166百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期においては当社の紀州製紙株式会社の吸収合併に伴い、税効果適用後の税金費用が軽減したこと等があったことから、前年同四半期比37.7%減の6,076百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べて50百万円減少し、332,944百万円となりました。これは、主として株式取得等により投資有価証券が14,868百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が7,452百万円減少したこと、減価償却等により有形固定資産が7,634百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて3,625百万円減少し、176,665百万円となりました。これは、主として有利子負債が6,805百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が4,581百万円減少したこと、未払法人税等が2,243百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,574百万円増加し、156,278百万円となりました。これは、主として四半期純利益による利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、印刷・情報用紙等の国内需要が低迷している中、効率向上等のコストダウンの継続はあるものの、急激な円安による原燃料価格の上昇、加えて工場構外の一部インフラの一時的な設備トラブルによる減産及び効率低下等により、営業利益は前回業績予想を下回る見通しです。また、経常利益、当期純利益につきましても、上記要因に加えて、当社の持分法適用関連会社である大王製紙株式会社が当第3四半期連結会計期間において海外関連会社への投融資等に対する巨額な損失を計上し、同社の当第3四半期連結会計期間において純損失となったこと等から、通期連結業績予想を下方修正したため、前回業績予想を下回る見通しです。

平成24年11月14日公表の通期連結業績予想との差異は以下のとおりです。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

平成25年3月期通期の連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成24年11月14日発表)	210,000	5,000	12,000	8,500	41.70
今回修正予想 (B)	210,000	4,000	10,000	7,000	34.34
増減額 (B - A)	—	△1,000	△2,000	△1,500	
増減率 (%)	—	△20.0	△16.7	△17.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	230,575	10,828	13,906	12,796	62.70

**2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**

**（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

**（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,158	22,163
受取手形及び売掛金	68,679	61,227
商品及び製品	17,132	19,017
仕掛品	1,736	1,843
原材料及び貯蔵品	12,462	12,550
その他	5,077	4,266
貸倒引当金	△88	△57
流動資産合計	<u>128,157</u>	<u>121,010</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,461	70,702
減価償却累計額	△37,315	△38,716
建物及び構築物（純額）	<u>33,145</u>	<u>31,986</u>
機械、運搬具及び工具器具備品	372,912	373,273
減価償却累計額	△265,802	△273,334
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	<u>107,110</u>	<u>99,939</u>
その他（純額）	30,129	30,825
有形固定資産合計	<u>170,385</u>	<u>162,751</u>
無形固定資産	1,173	1,371
投資その他の資産		
投資有価証券	25,627	40,496
その他	7,649	7,314
投資その他の資産合計	<u>33,277</u>	<u>47,810</u>
固定資産合計	<u>204,836</u>	<u>211,933</u>
資産合計	<u>332,994</u>	<u>332,944</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,538	22,957
短期借入金	<u>45,685</u>	<u>44,995</u>
コマーシャル・ペーパー	12,000	11,000
1年内償還予定の社債	300	—
未払法人税等	2,591	347
引当金	2,926	1,540
その他	12,262	<u>11,647</u>
流動負債合計	<u>103,304</u>	<u>92,488</u>
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	24,538	33,844
退職給付引当金	13,172	13,057
その他の引当金	777	686
負ののれん	4,436	3,099
資産除去債務	1,481	1,476
その他	2,579	2,011
固定負債合計	<u>76,986</u>	<u>84,176</u>
負債合計	<u>180,290</u>	<u>176,665</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,020	42,020
資本剰余金	45,481	45,481
利益剰余金	<u>64,761</u>	<u>68,391</u>
自己株式	<u>△2,317</u>	<u>△2,678</u>
株主資本合計	<u>149,946</u>	<u>153,215</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	862	1,189
繰延ヘッジ損益	△42	△31
為替換算調整勘定	3	△14
その他の包括利益累計額合計	<u>823</u>	<u>1,142</u>
新株予約権	37	74
少数株主持分	1,896	1,846
純資産合計	<u>152,703</u>	<u>156,278</u>
負債純資産合計	<u>332,994</u>	<u>332,944</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	173,558	155,330
売上原価	142,553	129,422
売上総利益	31,004	25,907
販売費及び一般管理費	23,452	23,134
営業利益	7,552	2,772
営業外収益		
受取利息	4	37
受取配当金	597	581
負ののれん償却額	1,337	1,337
持分法による投資利益	56	3,112
助成金収入	823	651
その他	715	998
営業外収益合計	3,534	6,718
営業外費用		
支払利息	832	707
設備休止費用	—	296
その他	433	322
営業外費用合計	1,265	1,325
経常利益	9,821	8,166
特別利益		
固定資産売却益	579	69
投資有価証券売却益	0	29
負ののれん発生益	1,535	38
受取保険金	905	—
保険差益	—	18
その他	0	4
特別利益合計	3,021	160
特別損失		
固定資産除売却損	700	945
減損損失	120	37
投資有価証券評価損	2,947	402
関係会社整理損	48	—
災害による損失	1,128	—
その他	5	19
特別損失合計	4,951	1,404
税金等調整前四半期純利益	7,891	6,922
法人税、住民税及び事業税	402	846
法人税等調整額	△2,284	△22
法人税等合計	△1,881	823
少数株主損益調整前四半期純利益	9,773	6,098
少数株主利益	17	22
四半期純利益	9,755	6,076

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,773	6,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	137
繰延ヘッジ損益	64	9
為替換算調整勘定	△3	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	31	189
その他の包括利益合計	31	305
四半期包括利益	9,805	6,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,788	6,395
少数株主に係る四半期包括利益	16	8

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	150,713	15,652	166,366	7,191	173,558	—	173,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,381	193	1,575	20,807	22,382	△ 22,382	—
計	152,094	15,846	167,941	27,998	195,940	△ 22,382	173,558
セグメント利益	5,828	568	6,396	522	6,918	633	7,552

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、建設業、諸資材の販売、不動産売買、運送・倉庫業、古紙卸売業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額633百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「紙パルプ事業」セグメントにおいて、丸大紙業株式会社は、同社による自己株式の取得により完全子会社となりました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,535百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	132,969	15,710	148,680	6,649	155,330	—	155,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,726	147	1,873	20,167	22,041	△ 22,041	—
計	134,695	15,858	150,554	26,817	177,371	△ 22,041	155,330
セグメント利益	1,423	666	2,090	184	2,275	497	2,772

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、建設業、不動産売買、運送・倉庫業、古紙卸売業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額497百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。